

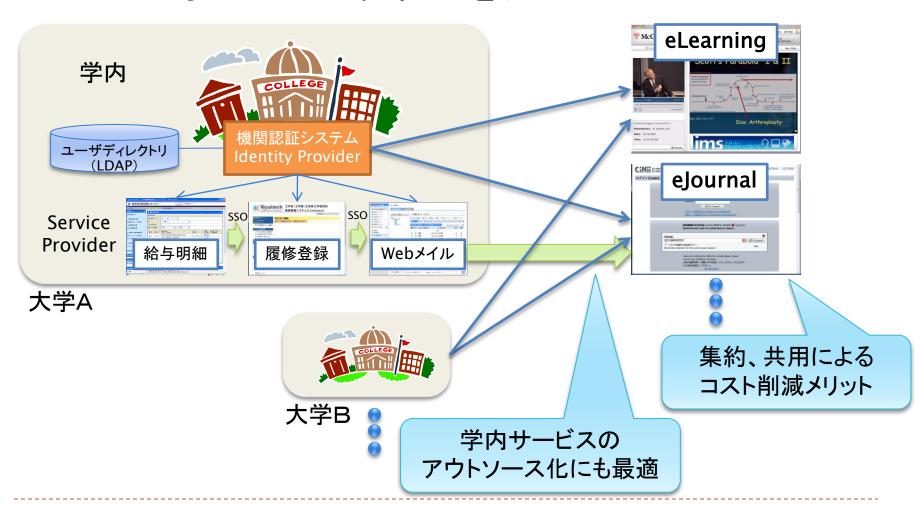
学認による大学連携と リソース共有促進の可能性

学術情報基盤オープンフォーラム in 京都 (2012/11/29)



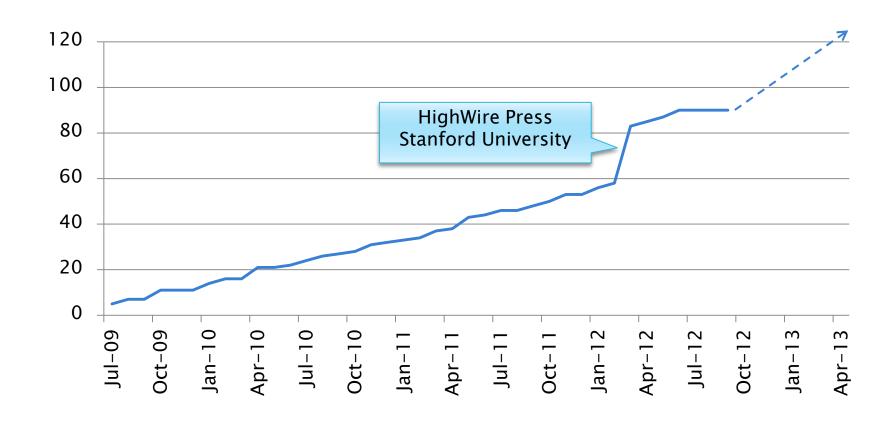
ID連携(学認)によるサービス共有

学内SSOの仕組みをグローバルに





学認SP数の推移





サービス:電子ジャーナル

Elsevier Science Direct

SpringerLink

Ovid SP

ProQuest RefWorks

Cambridge Journals Online

研究社: KOD

EBSCO: EBSCO host

Serials Solutions: 360 Search, 360 Link, Electronic Journal Portal

IOP science

S.Karger AG

American Society of Clinical Oncology

BMJ Journals

Disaster Medicine and Public Health Preparedness

Journal of Bone and Joint

Lyell Collection: Geological Society Publications

Online

Oxford Medicine

OxfordServices

RSM Press

SAGE Journals

Cengage Learning

サンメディア PierOnline (UniBio Press)

Elsevier SCOPUS

Thomson Reuters Web of Knowledge

ProQuest RefWorks

ProQuest ebrary
Atlases Pathology Images

NII: CiNii

IEEE Xplore

Royal Society of Chemistry RSC Publishing

BioOne

Americal Society of Nephrology

Biologists.com Journals

Journal Watch: Medical Journals and Research

Articles

Duke University Press Journals

Journals of the Royal College of Psychiatrists

Oxford Journals

Royal Society Publishing

Rockefeller University Press journals

Annual Reviews

Emerald

NII-REO

大学図書館コンソーシアム連合の協力のもと、学認ライブラリチームが順次拡大中



サービス:教育・研究・コラボレーション

Microsoft: DreamSpark

UQコミュニケーションズ モバイルWiMAXキャンパスネットワーク接続サービス

NII FaMCUs (MCU for Video Conferencing)

NII: FShare (File Sharing Service)

NII WebELS (Web-based e-Learning System)

NII 学認申請システム(GakuNin Registration System)

NII meatwiki

金沢大学 File Transfer Service

金沢大学 ARCADE(学術組織間デジタル資料分散 共有システム)

山形大学 大学間連携グループ情報共有サービス

佐賀大学 Opengate

アットウェア:しぼすけ

科学技術振興機構:ReaD&Researchmap

NII Eduroam-Shib (Temporary eduroam account issuing)

NII 研究クラウド(Gunnii, tinii, colonii)

NII edubase Cloud

NII GakuNin mAP

NII meatmail

金沢大学 Opens non-Bibliographic Contents Service

山形大学 科学技術の学術情報共有のための双方 向コミュニケーションサービス

広島大学 HINET wlan guest service

UNINETT, Foodle

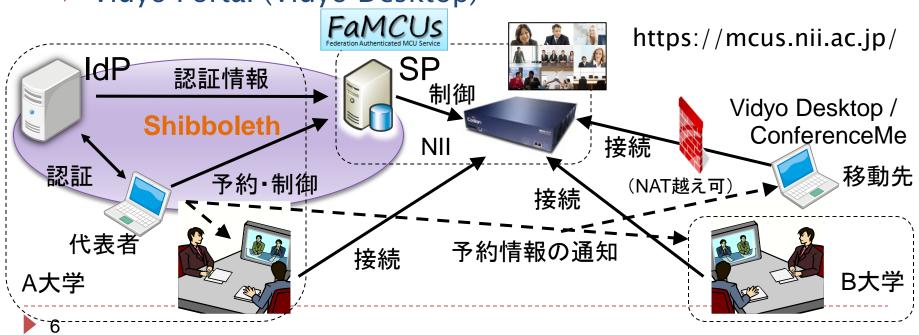




テレビ会議用MCU予約・制御システム

利用可能なMCU

- ▶ Tandberg Codian MCU 4510 (最大20地点、HD対応)
- ▶ Tandberg Codian MCU 4205 (最大12地点、京都大学提供)
- ▶ Polycom RMX 2000 (最大20ポート、HD対応)
- ▶ Polycom RMX 1000 (最大20ポート)
- Vidyo Portal (Vidyo Desktop)





FaMCUsの機能

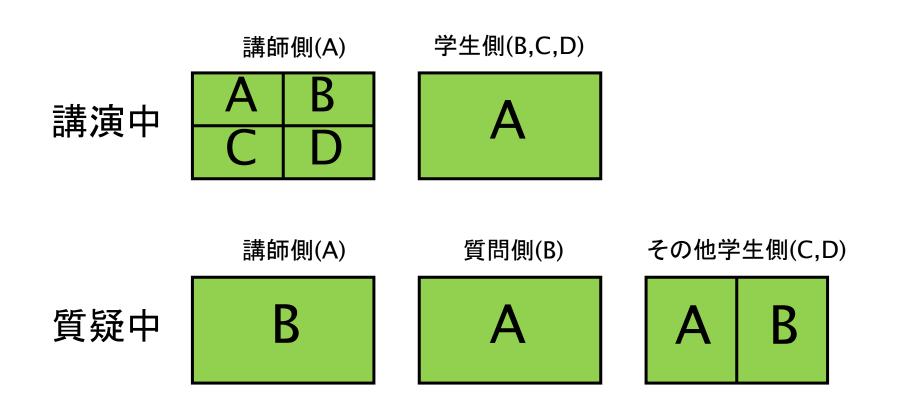


- 予約や制御の際に学認で認証
 - ▶ 教職員に限定 eduPersonAffiliation: faculty, staff
 - ▶ 学生に権限委譲可 eduPersonAffiliation: student
 - ▶ 代理アクセスURLを教えてもらえれば、他人の予約にアクセス可能
- ▶ テレビ会議への参加には学認による<u>認証なし</u>
 - 学認に参加していない大学等の利用者もテレビ会議に参加 可能
 - 会議室番号(6桁)を知らなければ接続不可
 - さらに会議室ごとに4桁のアクセスコードを設定可能
- 会議開催中のMCU制御機能
 - ▶ 参加者の追加(端末の呼び出し)、端末毎のミュート、切断
 - 画面レイアウトの変更
 - ▶ 遠隔講義向けレイアウト変更機能にも対応



遠隔講義向け画面レイアウト制御

▶ A,B,C,Dの4地点遠隔講義の場合(Aに講師)



最近のMCUは、拠点毎に画面レイアウトを指定可能

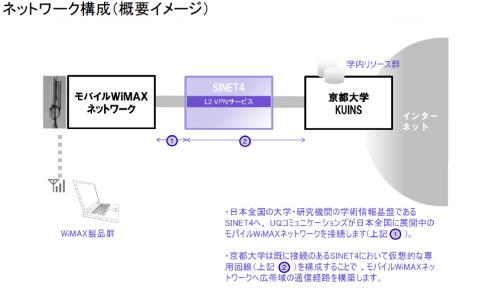


WiMAXのキャンパスネットワーク接続での 利用資格確認(UQコミュニケーションズ)

- ▶ WiMAXとSINETを利用したキャンパスネットワークへの アクセス提供サービス
- 契約時に「学認」による認証で資格確認を行う

【別紙2】

加入手続き概要(認証イメージ)





※画面イメージは制作中のものです。

(参考)http://www.ugwimax.jp/annai/news_release/201201303.html

(引用)http://www.uqwimax.jp/annai/news_release/docs/appendix_20120130_3.pdf

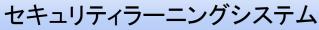


Eラーニングの活用

- ▶ 情報セキュリティー講習への需要
 - 大学ごとに同様のコンテンツやシステムを整備するのは非効率
- 共用EラーニングSP「学認連携 Moodle 講習サイトβ」
 - ▶「ヒカリ&つばさ」と「倫倫姫」(群馬大学)を提供予定

教職員・学生が受講







受講状況を機関に フィードバック



類似サービスを各機関で個別に導入する必要なし



学認連携 Moodle 講習サイトβの利用方法

- ▶機関からの利用申請がなくても学認参加大学のユーザは自由に自習可能
- 機関からの利用申請をすれば…
 - ▶ 自機関のユーザの受講状況を取得可能
 - ▶ 自機関向けのコンテンツ(SCORM準拠)の追加登録が可能
- 受講状況はePTIDにて個人を識別
 - ▶ ePTID (eduPersonTargetedID)による利用者の仮名化
 - ▶ ハッシュ化された値(SP毎に異なる)で、SP側では具体的に誰かはわ からない
 - ▶ IdP側でDB(マッピング情報)と突き合わせることで実ユーザを確認(NIIからツールを提供)



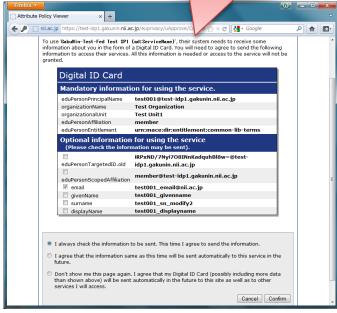
学認で扱う属性情報

属性	内容	
OrganizationName (o)	組織名	
jaOrganizationName (jao)	組織名(日本語)	SPごと
OrganizationalUnit (ou)	組織内所属名称	ハッシュ化る
jaOrganizationalUnit (jaou)	組織内所属名称(日本語)	個人情報
eduPersonPrincipalName (eppn)	フェデレーション内の共通識別子	
eduPersonTargetedID	フェデレーション内の仮名識別子	
eduPersonAffiliation	職種(faculty, staff, student, member)	
eduPersonScopedAffiliation	職種(@ドメイン名がついた形式)	
eduPersonEntitlement	資格	
SurName (sn)	氏名(姓)	
jaSurName (jasn)	氏名(姓)(日本語)	
GivenName	氏名(名)	
jaGivenName	氏名(名)(日本語)	
displayName	氏名(表示名)	
jaDisplayName 📩	氏名(表示名)(日本語)	
mail 📩	メールアドレス	
gakuninScopedPersonalUniqueCode 🛨	学生番号、職員番号(@ドメイン名)	

17種類の属性情報を用いて SPが<mark>認可</mark>判断(機関、ロールベース)。

SPごとに異なる ハッシュ化された識別子 個人情報開示に配慮 _/

uApprove.jp プラグイン



ユーザは送信する属性の選択が可能



受講履歴の取得手順

- 機関の必須コースとして指定したコースについて 受講履歴(受験レポート:インタラクションレポート)を テキストフォーマット(TSV)でダウンロード
- 2. IdP上で、ePTIDをePPN (eduPersonPrincipalName)に変換
 - ▶ IdPでは、ePTIDの送出においてStoredIDを利用しておく

```
$ cat example.tsv
```

https://idp.nii.ac.jp/idp/shibboleth!https://security-learning.nii.ac.jp/shibboleth!1a2B3c4D=https://idp.nii.ac.jp/idp/shibboleth!https://security-learning.nii.ac.jp/shibboleth!5E6f7G8h=

\$./merge-userinfo.pl -i example.tsv -u idpuser -d stored_id -o out_ok.tsv Enter your password: (DBアクセスパスワード)

\$ cat out_ok.tsv

Username principalName eduPersonTargetedID

Staff001 staff001 https://idp.nii.ac.jp/idp/shibboleth!https://security-learning.nii.ac.jp/shibboleth!1a2B3c4D= Student002 student002 https://idp.nii.ac.jp/idp/shibboleth!https://security-learning.nii.ac.jp/shibboleth!5E6f7G8h=



まとめ:さらなる大学間連携の支援

- 各地域の大学コンソーシアム
 - 大学間での履修情報等の交換
 - gakuninScopedPersonalUniqueCode
 - ▶ SPの大学間相互利用、コンソーシアムSP
- 共同研究プロジェクト支援
 - 学認mAP (https://map.gakunin.nii.ac.jp/) を用いたグループ情報の一元管理
 - ▶ メーリングリスト (meatmail)
 - ▶ 情報共有 (meatwiki)
 - ▶ ファイル共有 (ARCADE: 学術組織間デジタル資料分散共有システム)
 - スケジュール調整(しぼすけ)
 - ▶ など...
- eduroamによるネットワークアクセスのサポートも含めた展開



(参考)学術認証連携による研究教育のための

国際無線アクセスローミング

top

eduroam

● 世界的に展開される学術無線LANローミング 基盤(http://www.eduroam.jp/)

- 学術関係者なら接続料なしで自由にどこでも利用可
- ●ヨーロッパ約40か国の他、アジア太平洋地域では 日本、中国、香港、台湾、オーストラリア、NZ、 フィリピン、カナダ、USが参加(計約50ヵ国)
- ●日本国内は43機関が参加(平成24年11月現在)
- ●大学のアカウントによるアクセス認証を実現
 - radiusサーバによる認証連携網

●産学連携運用によるサービスエリアの拡充!

- ♪ livedoor wireless 約2,200ヶ所のアクセスポイント (東京、千葉、神奈川、埼玉など)
- ●eduroamは今や世界的な デファクトスタンダードに!

